

飯能新校基本計画骨子（案）

対象校 (:設置校)	飯能高校 飯能南高校
開校 年度	令和5年度
課程・ 学科等	全日制課程
	普通科
	単位制
学校 規模 (1学年当たり)	280人(7学級)
目指す 学校	ア 地域と協働した探究的な学びを通して、社会に貢献できる広い視野を持った人材を育成する学校 イ 進学を重視した、生徒一人ひとりの進路目標の実現を支援し、生徒や保護者、地域から信頼される学校 ウ 地域の小・中学校や大学等との連携を深め、教育拠点として社会に貢献する開かれた学校
育てたい 生徒像	ア 高い志を持ち、自らの力で人生を切り拓く生徒 イ グローバル社会に必要な資質・能力を備え、多様な価値観を受容できる生徒 ウ 多様な人々と積極的に交流し、社会に貢献できるリーダーとしての資質を備えた生徒 エ 文武両道の精神を持ち、様々な分野に積極的に取り組む生徒
基本 姿勢	新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びの視点から、学習環境の充実を図り、地域との協働による探究的な学びを実践する。

	基本方針	<p>ア 教科・科目においてICTの活用や探究的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力を育成する。</p> <p>イ グローバル社会に対応できる国際感覚や語学力を育成する。</p> <p>ウ 地域と協働した探究的な学びを通じて持続可能な社会の創り手となるよう、広く社会課題への関心を持たせる。</p> <p>エ 多面的な評価を構築し、指導と評価の一体化を図るとともに、目標に向かって最後までやり抜く力など、生徒が主体的に学びに向かう力を涵養する。</p>
教科指導	具現化	<p>ア 単位制の特長を生かし、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望に応じた多様な選択科目を設置する。</p> <p>イ 教科・科目等の枠を超えた横断的・総合的な学びを推進し、地域の協力も得ながら発表・討論の機会を積極的に取り入れる。</p> <p>ウ 総合的な探究の時間や協調的な学び、異校種交流等においてICTを活用し、主体的・対話的で深い学びを実践する。</p> <p>エ まちづくり、産業、観光、スポーツ等地域の教育資源を活用した探究的な学びを推進する。</p> <p>オ 小・中学校や大学等との連携を進め、地域を愛する心を育む異校種間の継続的な教育体制を確立する。</p> <p>カ 地域の友好都市との国際交流や様々な英語の検定試験への受検等を通じて、英語4技能の向上を図る。</p> <p>キ 教員と生徒の両者がルーブリックを活用し、教育活動の到達度を自己評価し、学習改善を行うPDCAサイクルを構築する。</p>

	基本方針	<p>ア 生徒一人ひとりが自らの意思で社会に関わる主体性を育む。</p> <p>イ 生徒理解に基づき、多様な生徒の個に応じた指導を行う。</p> <p>ウ 学校行事の充実や地域の教育力を活用し、自己肯定感や自己有用感、他人を思いやる心、豊かな人間性を育む。</p>
生徒指導	具現化	<p>ア 様々な場面で自己決定の場を与え、生徒の自律的な行動を支援する。</p> <p>イ 職員一人ひとりがカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携してチームで指導を行う。</p> <p>ウ 多様な他者と協働していく中で、生徒が安心して発言し、失敗を怖がらずに行動できる環境を醸成する。</p> <p>エ 地域や大学等と連携した専門的な部活動指導や生徒が主体的に実践する学校行事を推進する。</p> <p>オ 地域のイベント企画やまちづくり会議等へ積極的に参加し、貢献する。</p>

進路指導	基本方針	<p>ア 生徒一人ひとりの多様な進路に対応できるきめ細やかな指導を行う。</p> <p>イ 地域と連携した探究的な学びを通じて、自らの進路を主体的に選択することができるよう、組織的・計画的な進路指導を行う。</p>
	具現化	<p>ア 多様な人材との交流等を通じ、生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、一人ひとりの目標を実現できる進路指導を計画的に実施する。</p> <p>イ 探究的な教育活動等を通して生徒に自己の特性を理解させ、自らの進路を選択し決定することができるよう援助する。</p> <p>ウ 入試制度の研究を進め、中堅大学から難関大学まで対応した指導を行う。</p>
生徒募集	基本方針	<p>ア 中学生や保護者が関心を持てるよう、単位制を導入した進学重視の学校であることを広く浸透させる。</p> <p>イ 飯能市及び周辺地域の期待に応えられるよう、受検者を増加させる。</p>
	具現化	<p>ア 生徒の活躍する場を小中学校など異校種にも広げ、生徒たちの姿を通して高校の魅力を発信する。</p> <p>イ 学校の魅力を伝えるためにリーフレットやPR動画の作成、広報紙への掲載などを組み合わせ、効果的に発信する。</p> <p>ウ 市内の中高連絡協議会を活用し、中学校の教職員に高校の特色を広める。</p>
その他		<p>ア カリキュラムマネジメントを確立し社会に開かれた教育課程を実現するため、地域と学校の連携・協働の推進を図る。</p> <p>イ 指導充実を目的とした様々な研修を実施して、教職員の資質・能力の向上を図る。</p>